令和6年度第1回下水道審議会諮問事項

下水道使用料の改定について①

令和6年5月29日

館山市建設環境部

都市計画課下水道室

下水道管理係

目次

- 館山市下水道事業の概要
- 使用料改定の必要性について
- 使用料改定の全体的な流れ

館山市下水道事業の概要

館山市公共下水道事業
基礎情報R5決算見込

人口：43,839人
処理区域内人口：5,500人
普及率：12.5%
接続件数：4,809件
建設開始年度：平成4年度
供用開始年度：平成10年度
供用開始経過年数：25年

総建設費：211億円
資産：135億円
負債：85億円(企業債38億円)
資本：50億円(主に土地)
年度収入：9,500万円
年度費用：2億円(減価償却除く)
経費回収率：47%

現行の使用料体系（税込）（2か月につき）

基本使用料		超過使用料		
汚水量	使用料	区分	汚水量（1㎥につき）	使用料
20㎥まで	2,540円	①	20㎥を超え 40㎥まで	139円
		②	40㎥を超え 80㎥まで	151円
		③	80㎥を超え 200㎥まで	179円
		④	200㎥を超え 1000㎥まで	220円
		⑤	1000㎥を 超える場合	247円

例）2か月に40㎥を使用した場合

基本使用料 20㎥ 2,540円	区分① 20㎥ 2,780円

合計　40㎥　5,320円

平均的な世帯
1か月2,660円

使用料改定の必要性について

●経営課題

財政基盤が公費（繰入金）に過度に依存しており、使用料収入（自主財源）が不足している。

⇒使用料を改定することにより財政基盤の確保に努める。

●背景

・経費削減策（人件費削減、包括委託による経費削減、コロナ・物価対策補助による電気料金高騰対策）に下方硬直性に直面

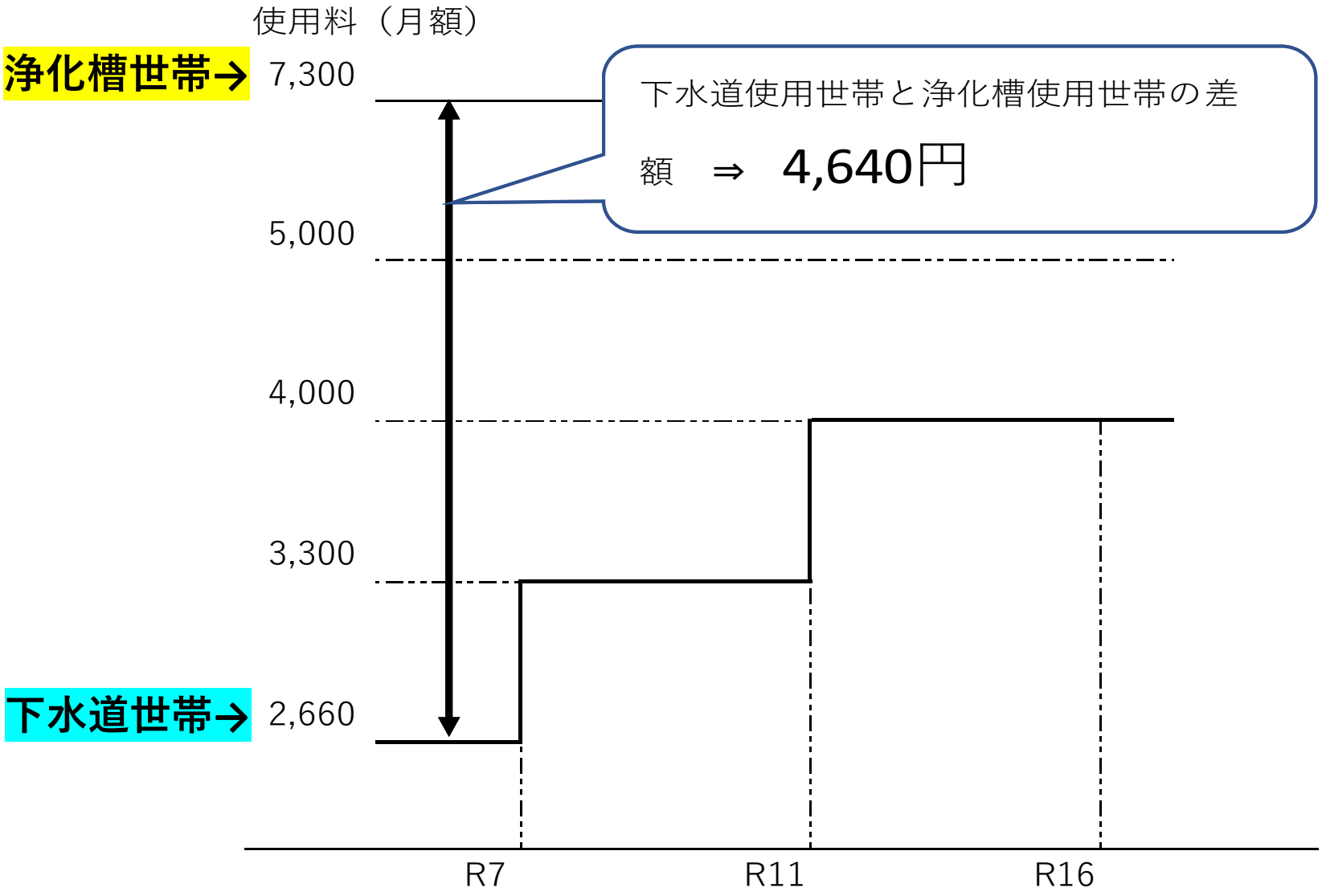
・これまで使用料による資本費の回収を後回しにしてきた。

▪ 施設更新費用の増大（物価上昇）×人口減少による収入減×財務基盤の脆弱さ（人口密度や水量密度、高資本地域）

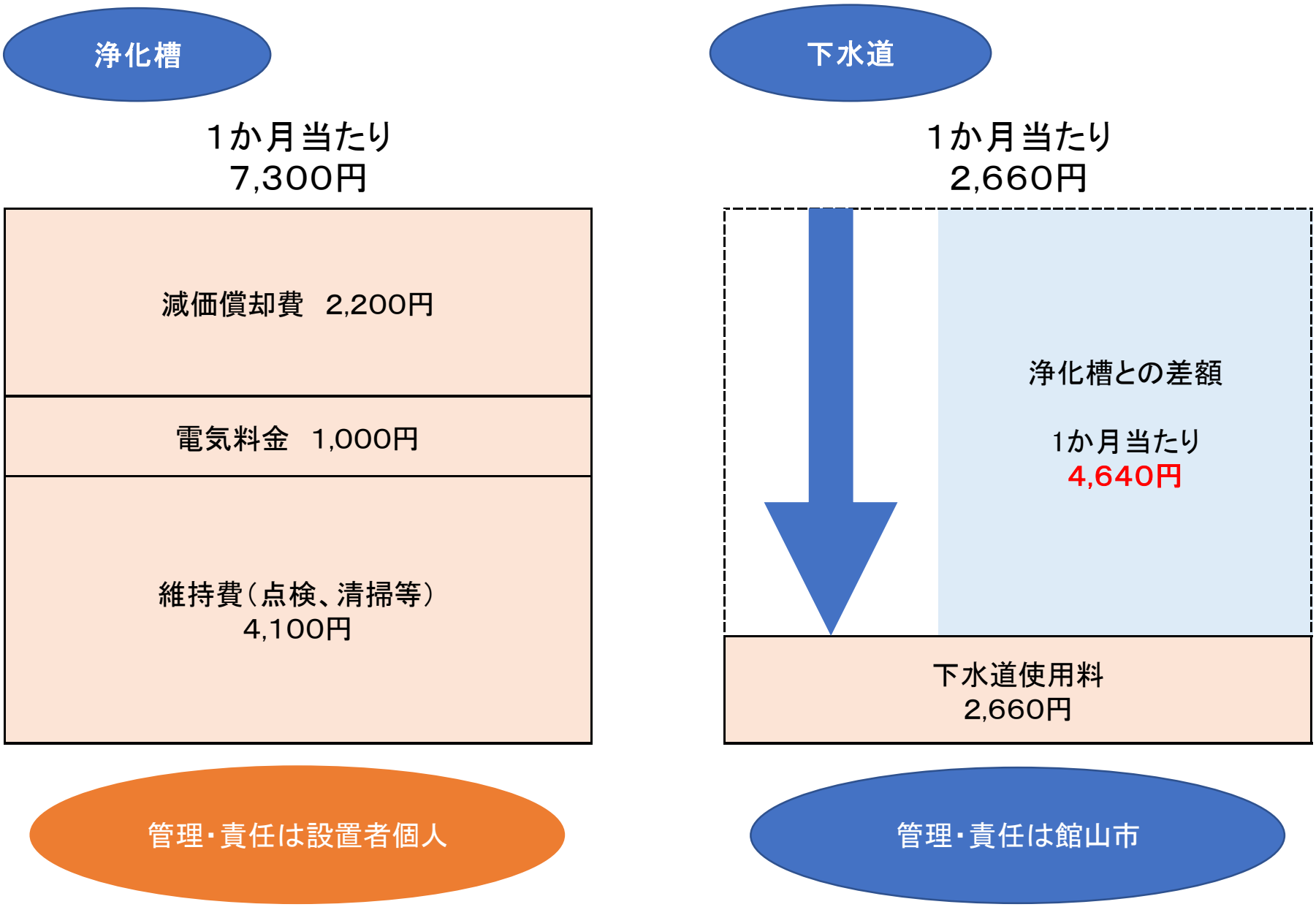
●財政基盤の確立

浄化槽世帯と下水道使用世帯との下水費用の負担のバランスをとるとともに、
使用料改定による増収を図り、増大する更新費用を積み立て、健全な財政基盤を築く。

使用料改定の方向性①（使用者負担と公費負担（繰入金））
下水道使用世帯と浄化槽使用世帯の差額（月額）を考慮する



下水道使用世帯と浄化槽使用世帯の差額（月額）



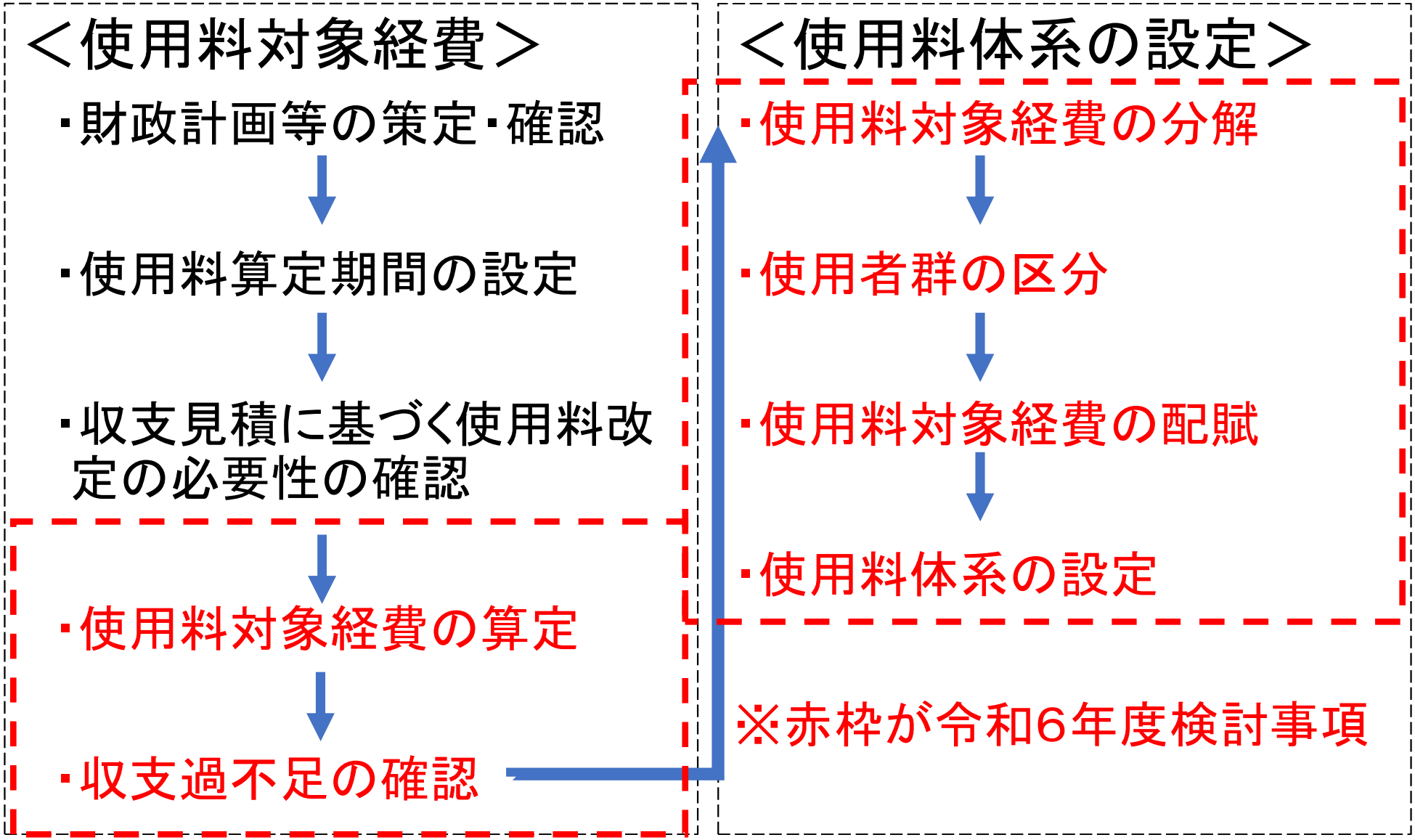
改定の方向性②（対象経費及び料金体系モデル）

①下水道使用者間の排水量によるバランス（一般家庭排水と業務系排水）

②将来の更新需要が新設当時と比較し、施工環境の悪化、高機能化（耐震化等）等により増大することを踏まえ、使用者負担の期間的な公平を考慮した料金体系

③水道料金額とのバランスをとること

使用料改定の全体的な流れ



財政計画等の策定・確認

1.施設の整備計画　10年で総額15億円

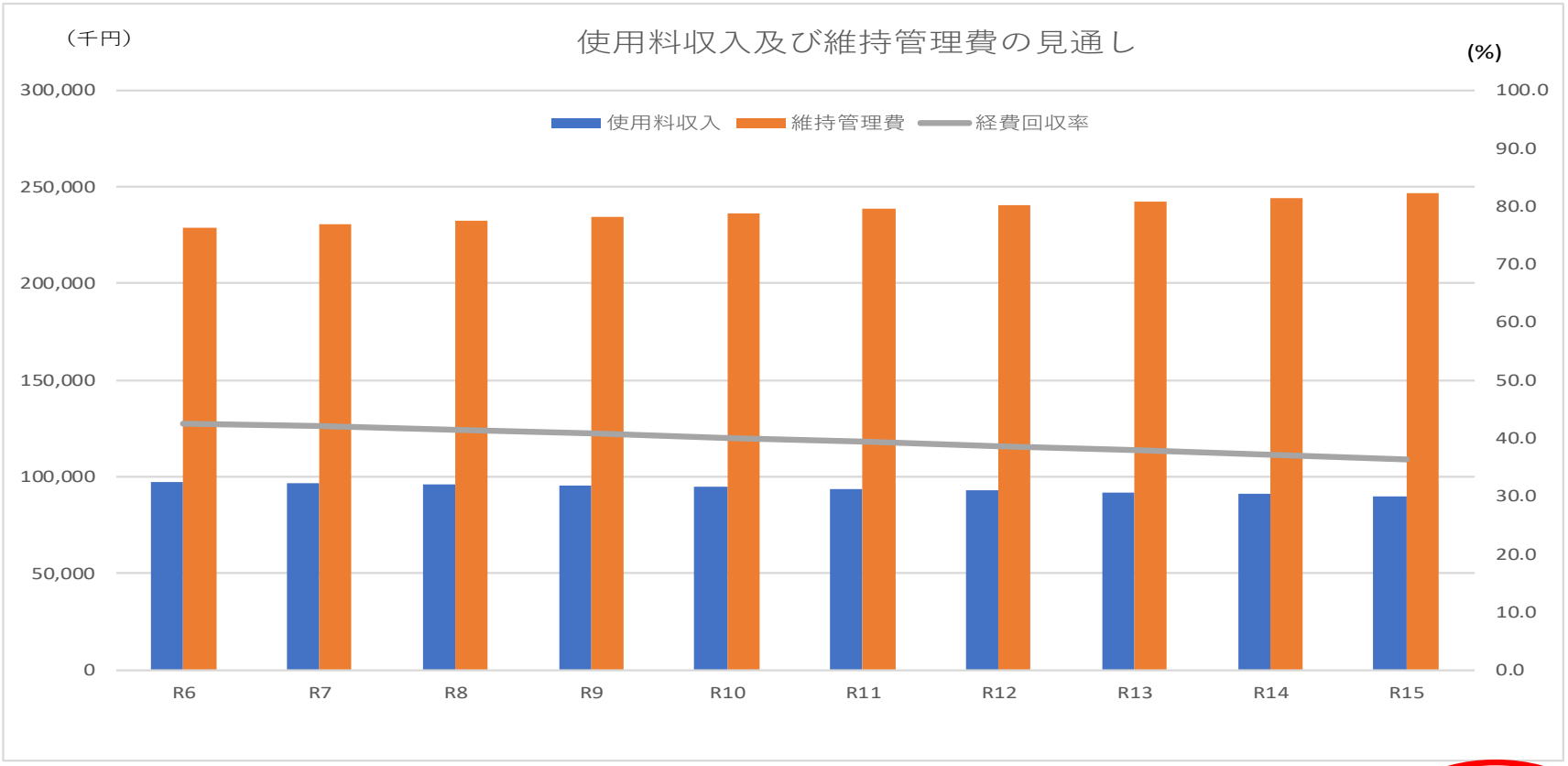
今後見込まれるストックマネジメントで計画されている事業費は10年15億円、30年総額40億円の更新費用となる（維持管理費用は含まず）。

（単位：千円）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	10年間計	R16-R25	R26-R34	30年合計
処理場	10,000	110,000	108,830	93,020	57,200	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	929,050	762,090	342,530	2,033,670
管路				96	1,936	2,236	2,236	2,236	2,236	2,236	13,212	22,360	17,888	53,460
計画策定							21,000				21,000	52,000	20,000	93,000
高度処理											0	1,212,204		1,212,204
耐震事業		73,000	66,500	82,000	82,000	82,000	82,000	82,000			549,500			549,500
合計	10,000	183,000	175,330	175,116	141,136	194,236	215,236	194,236	112,236	112,236	1,512,762	2,048,654	380,418	3,941,834

財政計画等の策定・確認

2.維持管理費の見込み　10年で総額23.7億円
3.使用料収入見込み　　10年で総額9.4億円

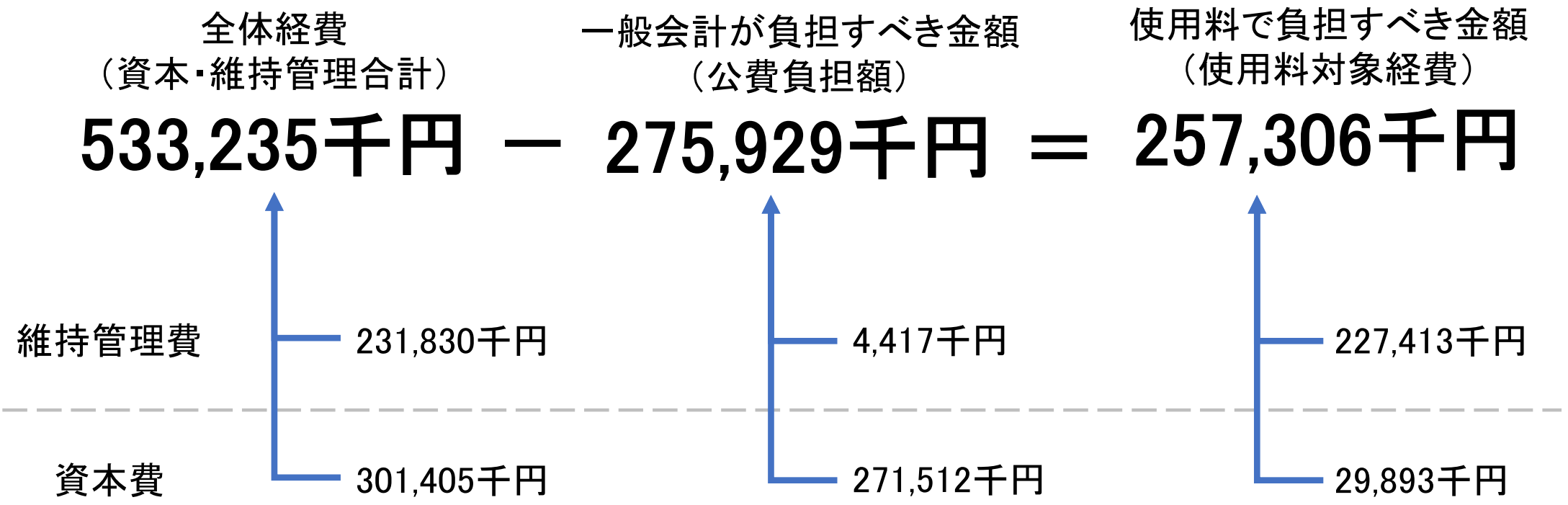


	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	合計
使用料収入	97,220	96,818	96,195	95,566	94,720	93,809	92,919	91,775	90,864	89,741	939,627
維持管理費	229,032	230,595	232,516	234,458	236,419	238,399	240,396	242,414	244,452	246,509	2,375,190
経費回収率	42.4	42.0	41.4	40.8	40.1	39.3	38.7	37.9	37.2	36.4	39.6

使用料対象経費の算定

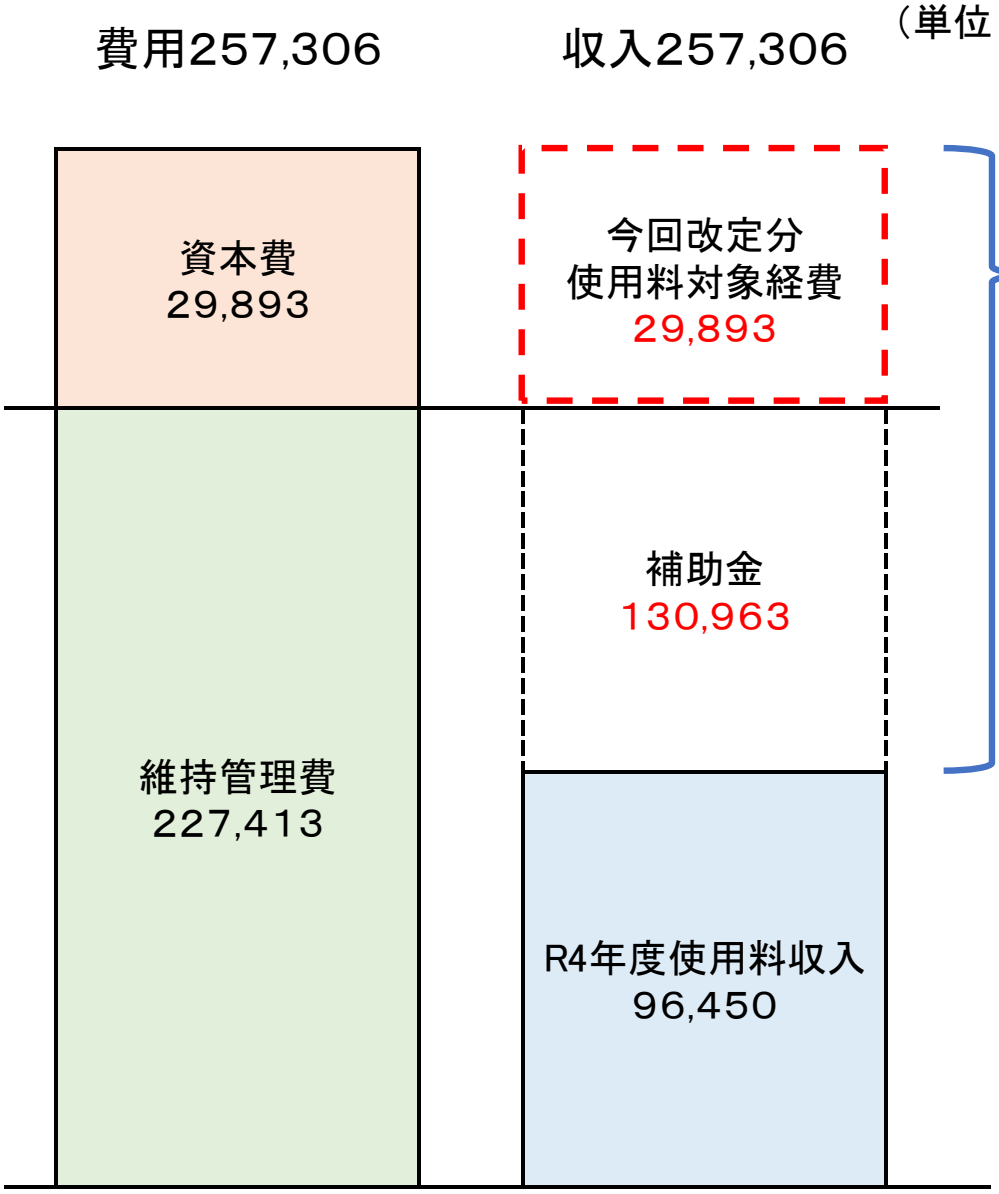
使用料対象経費というのは、「雨水（公費＝繰入金）：汚水（私費＝使用料）の原則」から本来、使用料で賄うべき費用の範囲を示している。

算定方法⇒今回はR6～R9年度を算定期間としてその年度の平均により求める



収支不足の確認

（単位：千円）



経費257,306千円−使用料収入96,450千円
＝△160,856（不足額）となる。

この△160,856（不足額）のうち、資本費分の
△29,893千円分を使用料改定で賄いたい。

現在の使用料金体系で想定される使用料収入は、
1年で96,450千円となる。

経営戦略の目標を達成するには、
改定後の使用料収入126,343千円が必要となる。

そのためには、
使用料収益96,450千円×1.3倍する必要がある。
＝125,383千円
よって、想定改定率は、約30%となる。

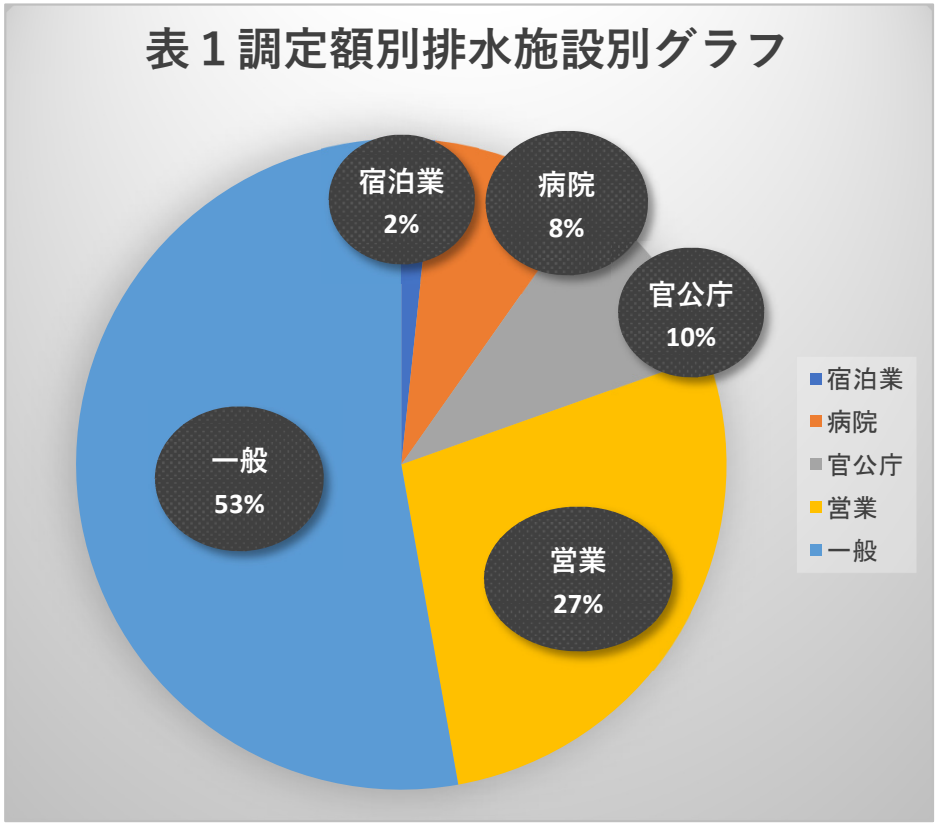
使用者群の区分

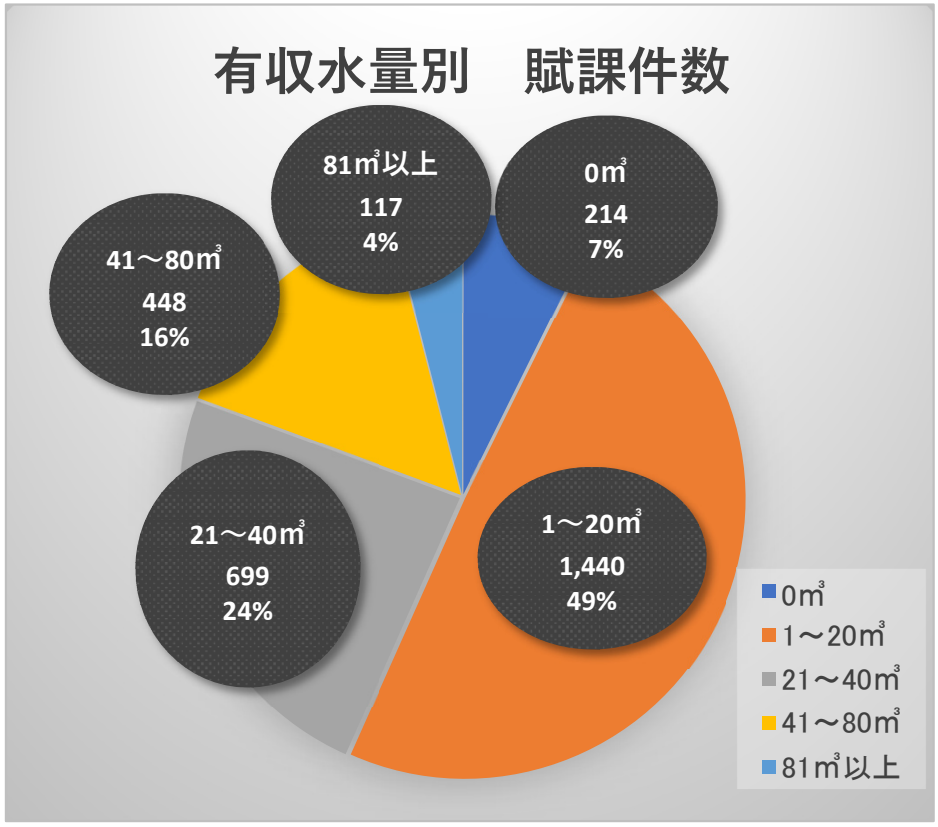
・表1のとおり、売上金額の53%は一般家庭使用者である。売上の47%は事業系使用者である。

・有収水量のうち98%を占める使用者が排出する水量が100㎥以下である。

・100㎥以上の使用者は、2%の業務系の大口使用者となる。

※2か月計算





※令和5年度第2期のデータを基に作成

使用料体系の設定について１例を提示(次ページ参照)

基本水量制について

館山市下水道事業については、基本使用料を採用している。ただし、資本費については、すべて公費負担としているのが現状である。

今後は、供用開始２５年を経過し、資本費の回収について、料金体系に組み込む必要がある。

館山市下水道使用料　早見表

（令和7年10月まで）　現行　年間総額約9,600万円の見込み

2か月分の排水量で計算した早見表です。　税抜

使用水量	下水道使用料	使用水量	下水道使用料	使用水量	下水道使用料
0㎥	¥2, 310	36㎥	¥4, 342	72㎥	¥9, 266
1㎥	¥2, 310	37㎥	¥4, 469	73㎥	¥9, 404
2㎥	¥2, 310	38㎥	¥4, 596	74㎥	¥9, 542
3㎥	¥2, 310	39㎥	¥4, 723	75㎥	¥9, 680
4㎥	¥2, 310	40㎥（一般家庭）	¥4, 850	76㎥	¥9, 818
5㎥	¥2, 310	41㎥	¥4, 988	77㎥	¥9, 956
6㎥	¥2, 310	42㎥	¥5, 126	78㎥	¥10, 094
7㎥	¥2, 310	43㎥	¥5, 264	79㎥	¥10, 232
8㎥	¥2, 310	44㎥	¥5, 402	80㎥	¥10, 370
9㎥	¥2, 310	45㎥	¥5, 540	81㎥	¥10, 533
10㎥	¥2, 310	46㎥	¥5, 678	82㎥	¥10, 696
11㎥	¥2, 310	47㎥	¥5, 816	83㎥	¥10, 859
12㎥	¥2, 310	48㎥	¥5, 954	84㎥	¥11, 022
13㎥	¥2, 310	49㎥	¥6, 092	85㎥	¥11, 185
14㎥	¥2, 310	50㎥	¥6, 230	86㎥	¥11, 348
15㎥	¥2, 310	51㎥	¥6, 368	87㎥	¥11, 511
16㎥	¥2, 310	52㎥	¥6, 506	88㎥	¥11, 674
17㎥	¥2, 310	53㎥	¥6, 644	89㎥	¥11, 837
18㎥	¥2, 310	54㎥	¥6, 782	90㎥	¥12, 000
19㎥	¥2, 310	55㎥	¥6, 920	91㎥	¥12, 163
20㎥	¥2, 310	56㎥	¥7, 058	92㎥	¥12, 326
21㎥	¥2, 437	57㎥	¥7, 196	93㎥	¥12, 489
22㎥	¥2, 564	58㎥	¥7, 334	94㎥	¥12, 652
23㎥	¥2, 691	59㎥	¥7, 472	95㎥	¥12, 815
24㎥	¥2, 818	60㎥	¥7, 610	96㎥	¥12, 978
25㎥	¥2, 945	61㎥	¥7, 748	97㎥	¥13, 141
26㎥	¥3, 072	62㎥	¥7, 886	98㎥	¥13, 304
27㎥	¥3, 199	63㎥	¥8, 024	99㎥	¥13, 467
28㎥	¥3, 326	64㎥	¥8, 162	100㎥（業務用）	¥13, 630
29㎥	¥3, 453	65㎥	¥8, 300	200㎥	¥29, 930
30㎥	¥3, 580	66㎥	¥8, 438	300㎥	¥49, 930
31㎥	¥3, 707	67㎥	¥8, 576	400㎥	¥69, 930
32㎥	¥3, 834	68㎥	¥8, 714	500㎥	¥89, 930
33㎥	¥3, 961	69㎥	¥8, 852	1, 000㎥	¥189, 930
34㎥	¥4, 088	70㎥	¥8, 990	2, 000㎥	¥414, 930
35㎥	¥4, 215	71㎥	¥9, 128	3, 000㎥	¥639, 930

館山市下水道使用料　早見表

（令和7年10月以降）　※料金体系等を見直し、年間総額約12億円の増収となる調整

2か月分の排水量で計算した早見表です。

使用水量	下水道使用料	使用水量	下水道使用料	使用水量	下水道使用料
0㎥	¥2, 700	36㎥	¥5, 300	72㎥	¥11, 676
1㎥	¥2, 706	37㎥	¥5, 440	73㎥	¥11, 884
2㎥	¥2, 712	38㎥	¥5, 580	74㎥	¥12, 092
3㎥	¥2, 718	39㎥	¥5, 720	75㎥	¥12, 300
4㎥	¥2, 724	40㎥（一般家庭）	¥5, 860	76㎥	¥12, 508
5㎥	¥2, 730	41㎥	¥6, 026	77㎥	¥12, 716
6㎥	¥2, 736	42㎥	¥6, 192	78㎥	¥12, 924
7㎥	¥2, 742	43㎥	¥6, 358	79㎥	¥13, 132
8㎥	¥2, 748	44㎥	¥6, 524	80㎥	¥13, 340
9㎥	¥2, 754	45㎥	¥6, 690	81㎥	¥13, 586
10㎥	¥2, 760	46㎥	¥6, 856	82㎥	¥13, 832
11㎥	¥2, 790	47㎥	¥7, 022	83㎥	¥14, 078
12㎥	¥2, 820	48㎥	¥7, 188	84㎥	¥14, 324
13㎥	¥2, 850	49㎥	¥7, 354	85㎥	¥14, 570
14㎥	¥2, 880	50㎥	¥7, 520	86㎥	¥14, 816
15㎥	¥2, 910	51㎥	¥7, 686	87㎥	¥15, 062
16㎥	¥2, 940	52㎥	¥7, 852	88㎥	¥15, 308
17㎥	¥2, 970	53㎥	¥8, 018	89㎥	¥15, 554
18㎥	¥3, 000	54㎥	¥8, 184	90㎥	¥15, 800
19㎥	¥3, 030	55㎥	¥8, 350	91㎥	¥16, 046
20㎥	¥3, 060	56㎥	¥8, 516	92㎥	¥16, 292
21㎥	¥3, 200	57㎥	¥8, 682	93㎥	¥16, 538
22㎥	¥3, 340	58㎥	¥8, 848	94㎥	¥16, 784
23㎥	¥3, 480	59㎥	¥9, 014	95㎥	¥17, 030
24㎥	¥3, 620	60㎥	¥9, 180	96㎥	¥17, 276
25㎥	¥3, 760	61㎥	¥9, 388	97㎥	¥17, 522
26㎥	¥3, 900	62㎥	¥9, 596	98㎥	¥17, 768
27㎥	¥4, 040	63㎥	¥9, 804	99㎥	¥18, 014
28㎥	¥4, 180	64㎥	¥10, 012	100㎥（業務用）	¥18, 260
29㎥	¥4, 320	65㎥	¥10, 220	200㎥	¥42, 860
30㎥	¥4, 460	66㎥	¥10, 428	300㎥	¥70, 460
31㎥	¥4, 600	67㎥	¥10, 636	400㎥	¥98, 060
32㎥	¥4, 740	68㎥	¥10, 844	500㎥	¥125, 660
33㎥	¥4, 880	69㎥	¥11, 052	1, 000㎥	¥263, 660
34㎥	¥5, 020	70㎥	¥11, 260	2, 000㎥	¥563, 660
35㎥	¥5, 160	71㎥	¥11, 468	3, 000㎥	¥863, 660

※使用料改定に向けた一例